

## 🐚 ウェルカムリストとは？

大阪湾の環境改善や干潟・藻場等の整備等の大阪湾再生の取り組みにより、大阪湾において、今後、新たに定着あるいは分布範囲の拡大を期待する生物種を選定したリストのことです。

## 🐚 どのようにして作ったの？

大阪湾では、平成20年度から、大阪湾沿岸で活動する団体と一緒に各地の生き物を一斉に調査する「大阪湾生き物一斉調査」を、毎年実施しています。

この「大阪湾生き物一斉調査」の調査結果や、その他の調査結果、大阪府や兵庫県で作成されているレッドリスト等の情報をもとに、海岸生物の専門家が話しあって決めました。

これまでの「大阪湾生き物一斉調査」の調査結果と概要については、下記URLまたはQRコードから閲覧出来ます。

URL: <http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>



## 🐚 どのような生き物が選ばれたの？

今回、ウェルカムリストの対象としたのは無脊椎動物(背骨のない動物)と海藻・海草です。これらの中から無脊椎動物ではハマグリやハクセンシオマネキ等の172種が、海藻・海草ではアマモやハナフノリ等の12種が選ばれました。選ばれた生物は、種類ごとに以下のとおりA～Cランクに分けられています。

### [ランク区分]

A: 大阪湾内では近年(1950年代以降)の記録が無い(ただし近隣海域では記録されている)か、記録がごく限られていて、生育・生息基盤が脆弱であると考えられる種。

B: 大阪湾内では産地が限られていて、今後分布の拡大が期待される種。

C: 大阪湾内では多数の地点で記録され、かつ良好な環境(水質・底質・地形)の目安となる種。

※良好な環境: 大阪湾再生行動計画に基づいて取り組まれている湾内の水質改善と干潟、砂浜、藻場、浅場、親水護岸等の整備によって期待される生物にとって好ましい環境

## 🐚 どのように使っていくの？

港湾・空港事業における影響評価や、大阪湾再生行動計画の評価指標の一つとしたいと考えています。また、観察会等でウェルカムリストの生物がいるかどうかを確認し、多くの人に大阪湾の環境に興味を持っていただきたいと考えています。

## 🐚 注意事項

掲載種を意図的(人為的)に他地域から導入するようなことはやめてください。

編集・発行：大阪湾環境再生連絡会

行政機関 国土交通省近畿地方整備局、第五管区海上保安本部、大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市、堺市

関係機関 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪湾広域臨海環境整備センター、(一財)関西観光本部、きしわだ自然資料館、兵庫県立農林水産技術総合センター

市民団体等 海藻おしばくらぶ、NPO法人近畿みなの達人、西淀自然文化協会、男里川干潟を守る会、西宮市貝類館

検討メンバー 山西 良平(西宮市貝類館)、石田 悠(大阪市立自然史博物館)、柏尾 翔(きしわだ自然資料館)、鍋島 靖信(大阪市立自然史博物館)、大谷 道夫(大阪市立自然史博物館)、渡部 哲也(西宮市貝類館)

事務局 国土交通省近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所



(令和4年10月作成)

大阪湾環境再生連絡会

# 大阪湾 海岸生物 ウェルカム リスト

(無脊椎動物・海藻・海草, 2022年版)



